

重要文化財（美術工芸品）の詳細説明

〈歴史資料の部〉新指定 1件

○名称

飛脚問屋井野口屋記録 33冊

○所有者

学校法人大阪経済大学（大阪市） 大阪経済大学 日本経済史研究所所蔵

○時代

江戸時代

○説明

本記録は飛脚問屋である井野口屋について、享保8年（1723）から天保14年（1843）までの120年にわたる記録を収めたもので、袋綴装四ツ目綴の冊子装33冊から構成されます。

井野口屋は享保8年に尾張徳川家の御用飛脚をつとめるようになって以来長い間にわたって、藩主や家臣の荷物などを無償で輸送するかわりに、大坂・京といった上方と尾張藩領間の通信・運輸業務の独占などが認められていました。

本記録の内容としては、井野口屋山田家の由緒や飛脚業の始まり、そして井野口屋が尾張藩御用飛脚となっただけのほかに、その後の尾張藩との交渉や営業、家政などについても記しています。

本記録は井野口屋の内部で作成されたものとみられ、大坂や京、名古屋で活躍した町飛脚について、その成立期から衰退期までの経営を窺い知れる貴重な史料です。こうした特徴を持つことから、社会経済史上における学術的な価値が高く評価されました。



学校法人大阪経済大学 日本経済史研究所所蔵（写真提供：文化庁）